



取扱説明書

はじめに

本 AirCode サポートツール for CC-Link 親局(以下、本サポートツール)は、AirCode CC-Link 親局(以下、AC2409N-C)の各種設定を行い、AC2409N-C と AC2409D などの子局を用いたシステム構成を支援するソフトウェアです。

本サポートツールでは、AC2409N-C に対して主に以下の設定・操作を行うことができます。

- ・ 子局の割付け
- ・ 子局の入出力モニタリング
- ・ CC-Link 通信用パラメータ設定(占有局数、プロトコルバージョン、拡張サイクリック設定、HOLD／CLR 設定)
- ・ AC2409N-C からの各種設定情報の読み出し/書き出し、ファイルへの保存/読み出し

ご注意

1. 本マニュアルは、AirCode サポートツール for CC-Link 親局 Ver1.0.0 以降に適用します。
2. 本マニュアルでは、Microsoft®Windows®XP Professional を例に画面および操作説明をしています。必要に応じて、動作環境に合わせて読み替えてください。
3. 本書の内容に関しましては、改良のため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

Windows®2000/XP は、米国 Microsoft Corp.の米国およびその他の国における登録商標です。

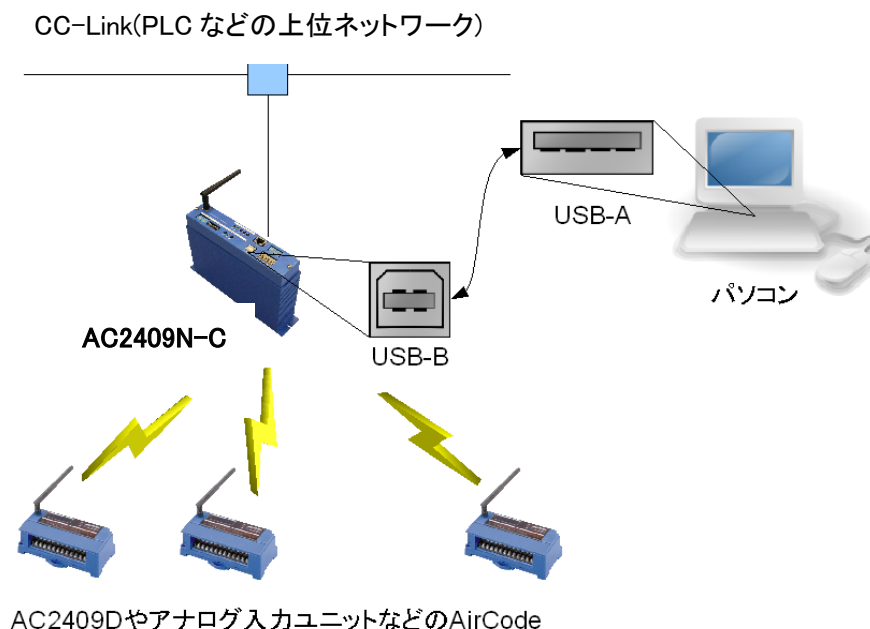
その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

目 次

1. 動作環境.....	1
2. サポートツールのインストール.....	2
2.1 ステップ 1 (AC2409N-C 接続ドライバのインストール).....	2
2.2 ステップ 2 (サポートツールのインストール).....	4
3. サポートツールのアンインストール	6
4. サポートツールの起動	7
5. サポートツールの終了	7
6. サポートツールの画面構成	8
6.1 メイン画面	9
6.2 AC2409N-C 設定情報表示エリア	9
6.3 子局入出力状態表示エリア	10
6.4 各種設定/モニタ開始ボタンエリア	10
6.5 親局パラメータ設定画面	11
6.6 子局割付設定画面.....	12
6.7 サポートツール設定画面	13
7. 設定およびモニタの例	16
7.1 親局のパラメータ設定.....	18
7.2 子局割付	19
7.3 子局入出力情報のモニタ	22

1. 動作環境

本サポートツールは、下図のような AC2409N-C および AC2409D などの子局から構成された動作環境で、AC2409N-C 設定用に設けられた PC にて動作します。



【パソコン要求仕様】

項目	環境
パソコン	Microsoft Windows が稼働するパソコン
CPU	Intel®Pentium®III 1GHz 以上
オペレーティングシステム	Microsoft®Windows®2000/XP
メモリ	256MB 以上
ハードディスク空きエリア	30MB 以上
ディスクドライブ	CD-ROM ドライブ(インストールに必要)
その他	USB ポート×1

【上位ネットワーク】

上位ネットワークを構成する機器には、CC-Link 対応の PLC や CC-Link モジュールなどを使用することができます。

各機器の設定等については、ご使用の機器の取扱説明書を参照してください。

2. サポートツールのインストール

サポートツールのインストールは、AC2409N-C に同梱の CD を用い、次の 2 ステップで行います。

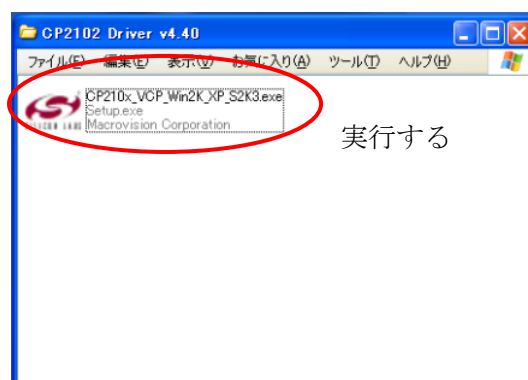
- ステップ 1 AC2409N-C 接続ドライバのインストール
 → AC2409N-C を接続するためのドライバをインストールします
- ステップ 2 AirCode サポートツールのインストール
 → AirCode サポートツールのプログラムをインストールします

2.1 ステップ 1 (AC2409N-C 接続ドライバのインストール)

1) ドライバ・インストーラの実行

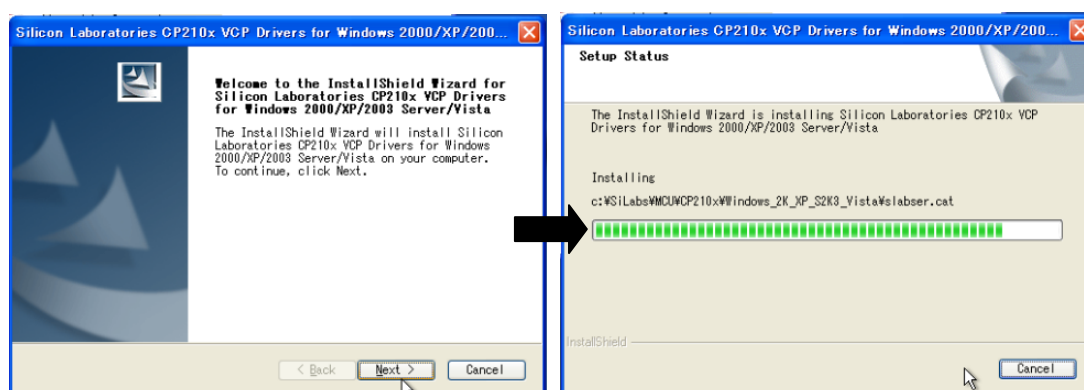
マイコンピュータまたはエクスプローラより

<CD ドライブ>¥CP2102_Driver_v4r40¥CP210x_VCP_Win2K_XP_S2K3.exe
 を実行します。



2) インストール作業

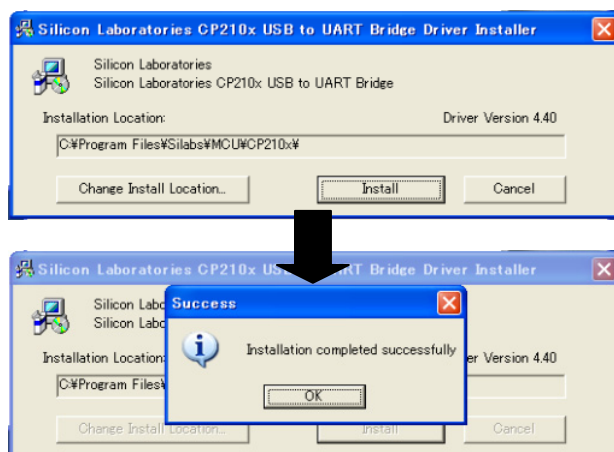
インストーラのスプラッシュ画面が出た後、VCP Driver のインストールが始まりますので、画面指示に従いインストールを行ってください。



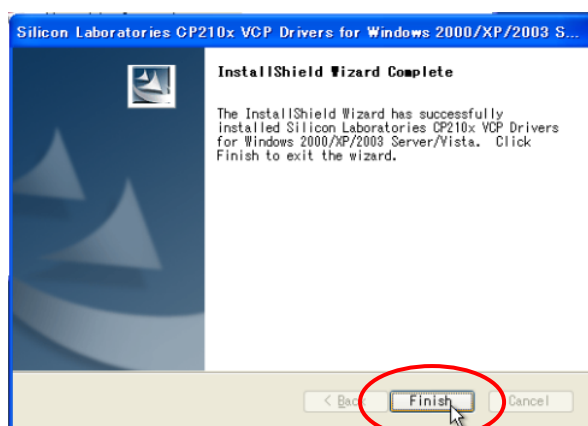
インストール途中でドライバのインストールディレクトリを指定できますが、通常は変更する必要はありません。(デフォルト値のままで構いません)

VCP Driver に引き続き、USB to UART Bridge Driver のセットアップが始まりますので、画面指示に従いインストールを行ってください。

注) 環境によってはインストール中、システム・スキャンでしばらくお待ちいただくことがあります。



USB to UART Bridge Driver のインストールが完了した後、VCP Driver の[Finish]ボタンをクリックし、インストーラを終了させます。



【注意】

AC2409N-C 接続ドライバは、添付のバージョン以外は使用しないでください。他のバージョンのドライバを使用した場合、本サポートツールが正常に動作しない恐れがあります。

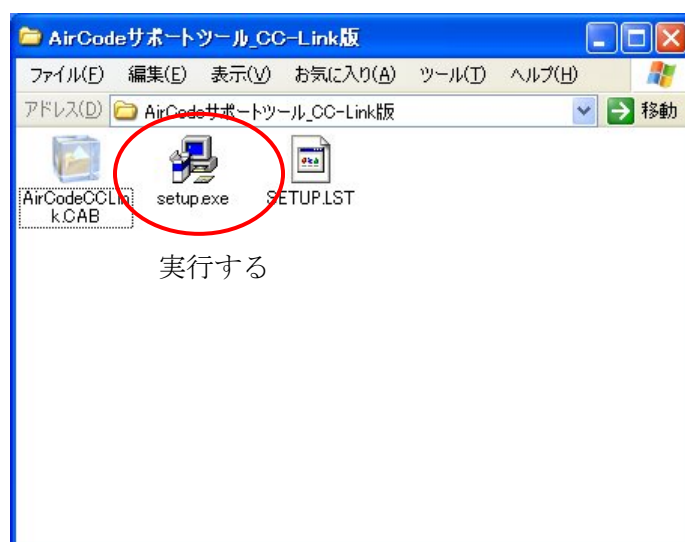
2.2 ステップ 2 (サポートツールのインストール)

1) サポートツール・インストーラの実行

マイコンピュータまたはエクスプローラより

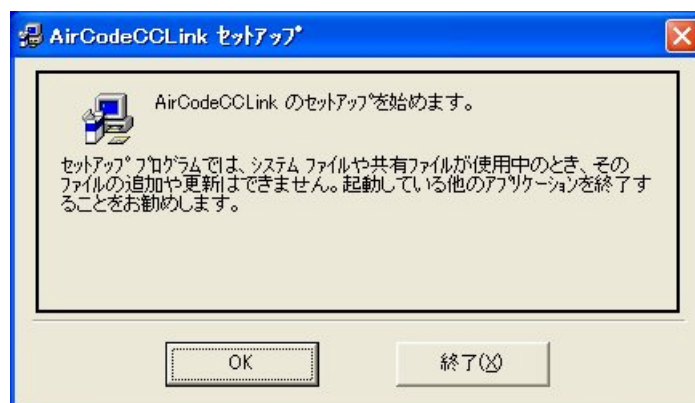
<CD ドライブ>¥AirCode サポートツール_CC-Link 版¥setup.exe

を実行します。

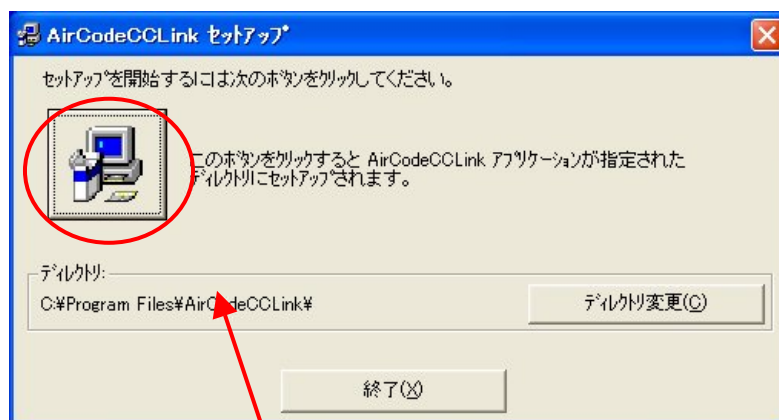


2) インストール作業

インストーラの起動後、AirCodeFLNet セットアップのダイアログが表示されます。[OK] ボタンをクリックし、次へ進めます。

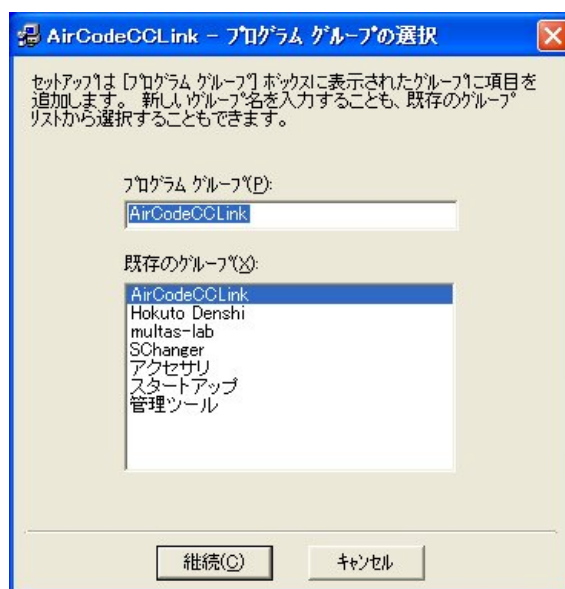


サポートツールをインストールするディレクトリを指定し、セットアップ開始ボタンをクリックします。インストール先のディレクトリは、通常は変更する必要はありません。(デフォルト値のままで構いません)



セットアップ開始ボタン

セットアップ開始後、プログラムグループの選択を行い、継続ボタンをクリックします。プログラムグループは通常は変更する必要はありません。



継続ボタンをクリックすると、ファイルのコピーが始まります。必要なファイルのコピーが完了すると、セットアップ完了のメッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックしセットアップを完了させます。



3. サポートツールのアンインストール

サポートツールをアンインストールには、以下の手順で行います。

1. [スタート]—[設定]—[コントロールパネル]を開きます。
2. [プログラムの追加と削除]を開きます。
3. [プログラムの追加と削除]ダイアログボックスのリストにある、[AirCodeCC-Link]をクリックした後、右下の[変更と削除]をクリックします。
4. ファイル削除の確認画面で[はい]をクリックします。
5. アンインストールを開始します。

【注意】

アンインストールを開始後、ファイルの削除中に「共有ファイルを削除しますか?」と表示されることがあります。この場合、[いいえ]または[すべていいえ]をクリックしてください。

[はい]または[すべてはい]をクリックすると、既にインストールされている他のアプリケーションが動作しなくなる恐れがあります。

4. サポートツールの起動

サポートツールを起動するには、[スタート]—[すべてのプログラム]—

[AirCodeCC-Link]と開き、[AirCodeCC-Link]]をクリックします。

スプラッシュ画面が約 10 秒表示された後、メイン画面へ切り替わります。スプラッシュ画面には、サポートツールのバージョンに関する情報が表示されます。



サポートツールのバージョン情報

5. サポートツールの終了

サポートツールを終了させるには、左上のをクリックしメニューより[× 閉じる(C)]を選択するか、右上のをクリックします。

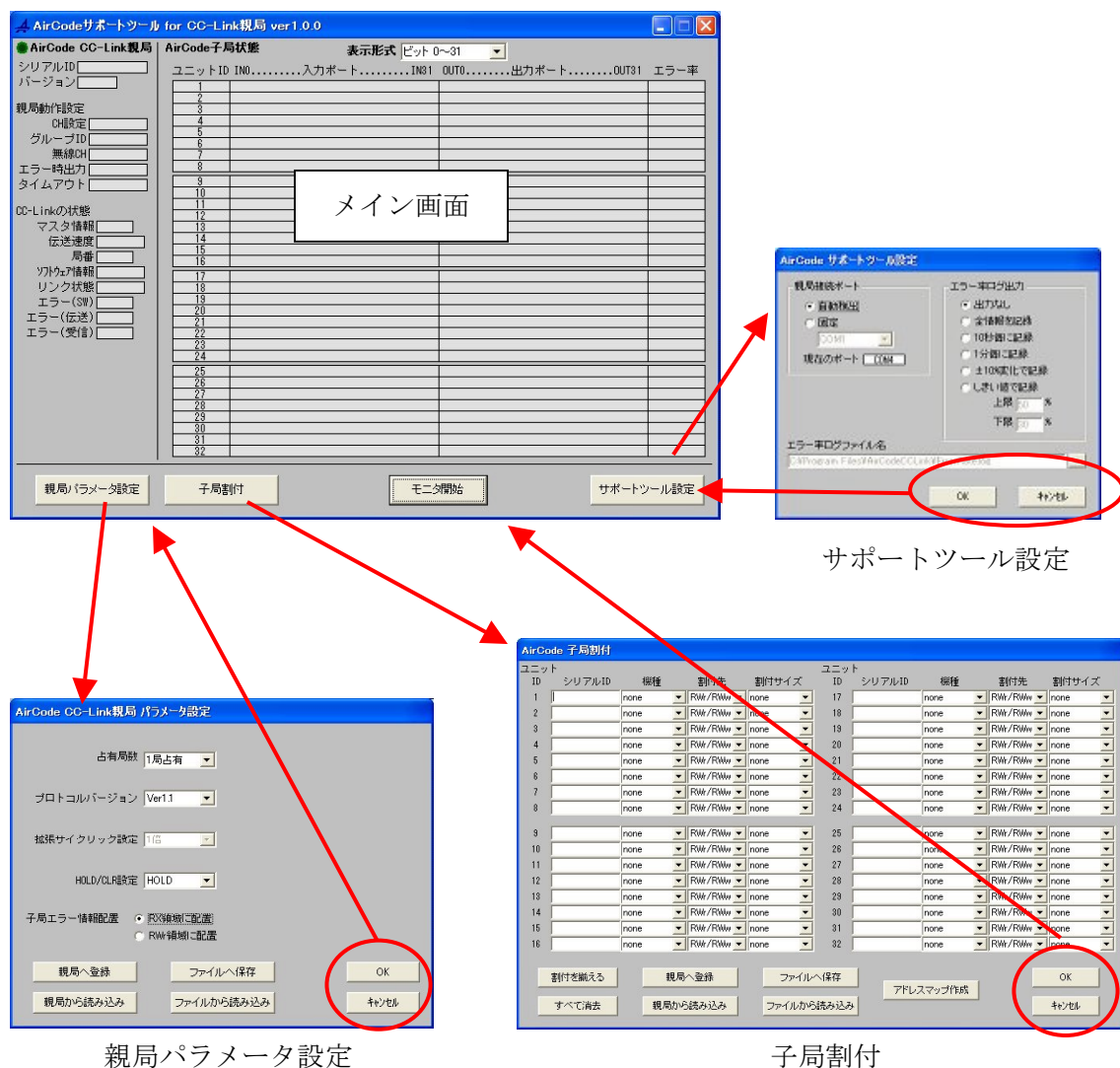


6. サポートツールの画面構成

サポートツールは、メイン画面下部にある[親局パラメータ設定]、[子局割付]、[モニタ開始]、[サポートツール設定]のボタンをクリックすることにより、各種画面への切替・表示を行うことができます。

- ・ [親局パラメータ設定] : AC2409N-C の設定画面を表示します
- ・ [子局割付] : 子局の割付け設定画面を表示します
- ・ [モニタ開始] : 子局の入出力情報をメイン画面上へ表示します
- ・ [サポートツール設定] : AC2409N-C との通信設定画面を表示します

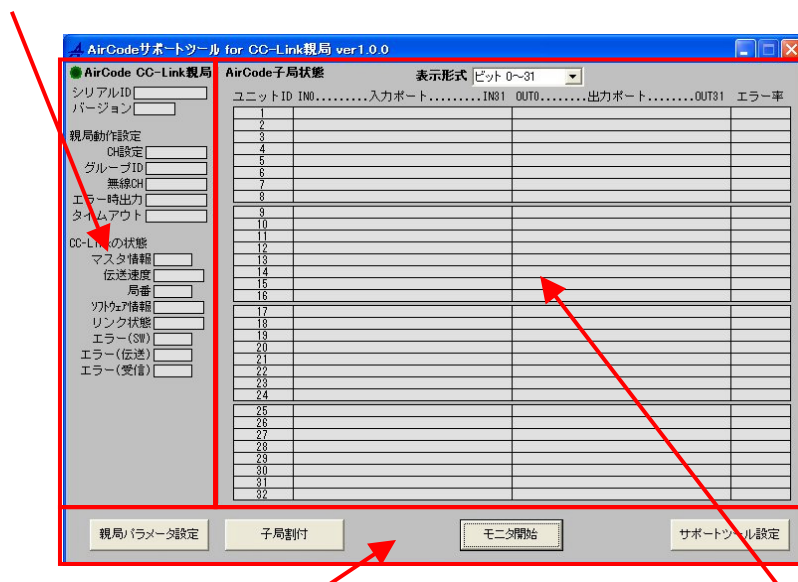
各表示状態の遷移は下図のようになります。



6.1 メイン画面

メイン画面は、AC2409N-C の設定、状態情報を表示するエリア、子局入出力状態を表示するエリア、各種設定およびモニタ開始/停止ボタンエリアの3つに分けられています。

接続している AC2409N-C の設定情報、CC-LINK の状態表示が表示されます



各種設定/モニタ開始ボタン

子局の入出力状態が表示されます

6.2 AC2409N-C 設定情報、CC-LINK の状態表示エリア

AirCode CC-Link 親局

シリアルID

バージョン

親局動作設定

CH設定

グループID

無線CH

エラー時出力

タイムアウト

CC-Link の状態

マスタ情報

伝送速度

局番

ソフトウェア情報

リンク状態

エラー(SW)

エラー(伝送)

エラー(受信)

→ 接続した AC2409N-C のシリアル ID が表示されます

→ 接続した AC2409N-C のファームウェアバージョン

→ 設定されている CH が表示されます

→ グループ ID が表示されます

→ 実際に無線で使用される周波数が表示されます

→ エラー時出力の設定(ON/OFF)が表示されます

→ 無線通信エラー判定時間が表示されます

→ CC-Link マスタ情報を表示します

→ 伝送速度を表示します

→ 局番を表示します

→ ソフトウェアバージョン情報を表示します

→ リンク状態を表示します

→ SW のエラー状態を表示します

→ 伝送データのエラー表示します

→ 送信データを表示します

6.3 子局入出力状態表示エリア

子局の入出力情報モニタ時、各子局の状態はここに表示されます。

モニタの表示形式を変更できます

無線パケットエラー率



AirCode子局状態 表示形式 **ビット 0~31**

ユニットID	IN0.....	入力ポート.....	IN31	OUT0.....	出力ポート.....	OUT31	エラー率
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							



入力ポート状態が表示されます 出力ポート状態が表示されます

表示形式コンボボックスより、表示させる領域と表示方法(ビットで表示、バイトデータで表示、ワードデータで表示、ロングデータで表示)を選択することができます。

表示形式	表示内容
ビット 0~31	先頭番地+0~+31 ビット目の状態を■の明暗で表示
ビット 32~63	先頭番地+32~+63 ビット目の状態を■の明暗で表示
ビット 64~95	先頭番地+64~+95 ビット目の状態を■の明暗で表示
ビット 96~127	先頭番地+96~+127 ビット目の状態を■の明暗で表示
バイト 0~7	先頭番地+0~+7 バイト目の状態をバイト形式で表示
バイト 8~15	先頭番地+8~+15 バイト目の状態をバイト形式で表示
ワード 0~3	先頭番地+0~+3 ワード目の状態をワード形式で表示
ワード 4~7	先頭番地+4~+7 ワード目の状態をワード形式で表示
ロング 0~3	先頭番地+0~+127 ビット目の状態をロング形式で表示

6.4 各種設定/モニタ開始ボタンエリア

各種設定画面の表示等、これらのボタンをクリックして行います。

親局パラメータ設定	子局割付	モニタ開始	サポートツール設定
-----------	------	-------	-----------

ボタン名	機能
親局パラメータ設定	CC-Link に関するパラメータ設定画面を開きます
子局割付	子局割付画面を開きます
モニタ開始	子局入出力状態のモニタ開始/停止を切り替えます
サポートツール設定	サポートツールの通信設定画面を開きます

6.5 親局パラメータ設定画面

AC2409N-C の CC-Link に関する設定はこの画面で行います。

AirCode CC-Link親局 パラメータ設定

占有局数 1局占有

プロトコルバージョン Ver1.1

拡張サイクリック設定 1倍

HOLD/CLR設定 HOLD

子局エラー情報配置 ☒ R/W領域に配置 ☐ RW領域に配置

親局へ登録 ファイルへ保存 OK

親局から読み込み ファイルから読み込み キャンセル

項目	機能
ネットワークに関する設定	
占有局数	占有局数を設定します
プロトコルバージョン	プロトコルバージョンを設定します
拡張サイクリック設定	拡張サイクリック設定を設定します
HOLD/CLR 設定	マスタ STOP、マスタ異常、タイムアウト発生時の受信データの HOLD/CLR を設定します
子局エラー情報の取扱いに関する設定	
子局エラー情報配置	エラー情報の配置先を設定します
各種ボタン	
[親局へ登録]ボタン	設定した情報を AC2409N-C へ登録します
[親局から読み込み]ボタン	AC2409N-C に登録されている設定を読み込みます
[ファイルへ保存]ボタン	設定した情報をファイルへ保存します
[ファイルから読み込み]ボタン	ファイルから設定情報を読み込みます
[OK]ボタン	設定内容を保持したままメイン画面へ
[キャンセル]ボタン	設定内容を保持しないでメイン画面へ

6.6 子局割付設定画面

AC2409N-C に接続する子局の割付はこの画面で行います。

AirCode 子局割付

ユニット					ユニット				
ID	シリアルID	機種	割付先	割付サイズ	ID	シリアルID	機種	割付先	割付サイズ
1		none	RWr/RWw	none	17		none	RWr/RWw	none
2		none	RWr/RWw	none	18		none	RWr/RWw	none
3		none	RWr/RWw	none	19		none	RWr/RWw	none
4		none	RWr/RWw	none	20		none	RWr/RWw	none
5		none	RWr/RWw	none	21		none	RWr/RWw	none
6		none	RWr/RWw	none	22		none	RWr/RWw	none
7		none	RWr/RWw	none	23		none	RWr/RWw	none
8		none	RWr/RWw	none	24		none	RWr/RWw	none
9		none	RWr/RWw	none	25		none	RWr/RWw	none
10		none	RWr/RWw	none	26		none	RWr/RWw	none
11		none	RWr/RWw	none	27		none	RWr/RWw	none
12		none	RWr/RWw	none	28		none	RWr/RWw	none
13		none	RWr/RWw	none	29		none	RWr/RWw	none
14		none	RWr/RWw	none	30		none	RWr/RWw	none
15		none	RWr/RWw	none	31		none	RWr/RWw	none
16		none	RWr/RWw	none	32		none	RWr/RWw	none

項目	機能
子局の割付に関する設定	
シリアル ID	割付する子局のシリアル ID を設定します
機種	割付する子局の入出力タイプを設定します
割付先	割付先を RX/RY 領域または RWr/RWw 領域より選択します
割付サイズ	割付する子局の入出力サイズを設定します
各種ボタン	
[割付を揃える]ボタン	ID1 の機種・割付先・割付サイズを ID2～32 にコピーします
[すべて消去]ボタン	全ての割付を消去します
[親局へ登録]ボタン	設定した情報を AC2409N-C へ登録します
[親局から読み込み]ボタン	AC2409N-C に登録されている割付情報を読み込みます
[ファイルへ保存]ボタン	割付情報をファイルへ保存します
[ファイルから読み込み]ボタン	ファイルから割付情報を読み込みます
[アドレスマップ作成]	子局割付情報やアドレスをファイルに書き出します
[OK]ボタン	割付情報を保持したままメイン画面へ
[キャンセル]ボタン	割付情報を保持しないでメイン画面へ

6.7 サポートツール設定画面

AC2409N-C との接続に用いるポートの設定はこの画面で行います。

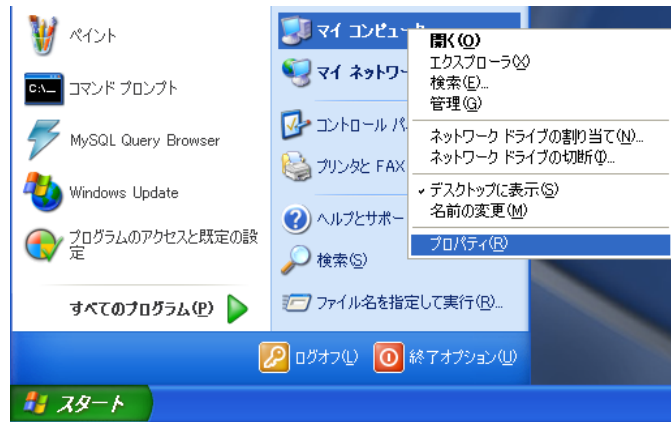


項目	機能
AC2409N-C との接続ポートに関する設定	
自動検出/固定	ポートの設定を自動で行うか、固定ポートとするかを設定します
エラー率ログ出力設定	エラー率をどのように記録するかを設定します。
各種ボタン	
[OK]ボタン	割付情報を保持したままメイン画面へ
[キャンセル]ボタン	割付情報を保持しないでメイン画面へ

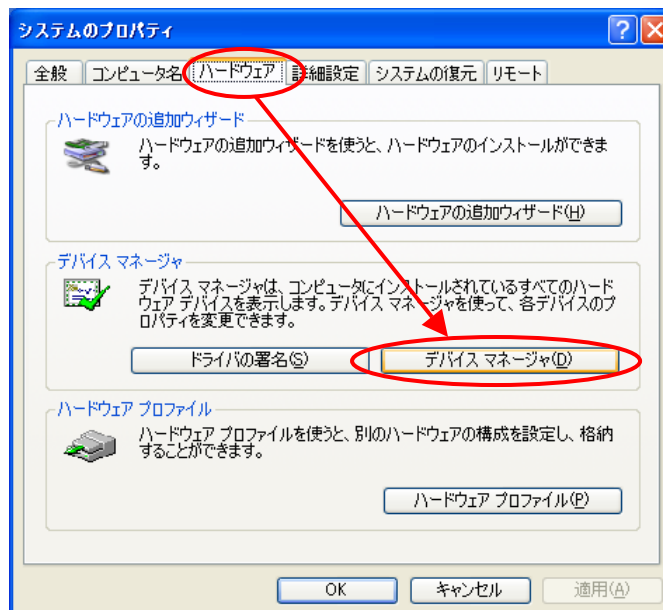
【注意】

接続ポートは自動で検出されますが、お使いの環境によっては稀に検出に失敗することがあります。各設定画面での[親局へ登録]クリック時や子局情報モニタ時に親局との通信エラーが発生する場合、以下の手順にて接続ポートを調べ、ポート固定の設定を行ってください。

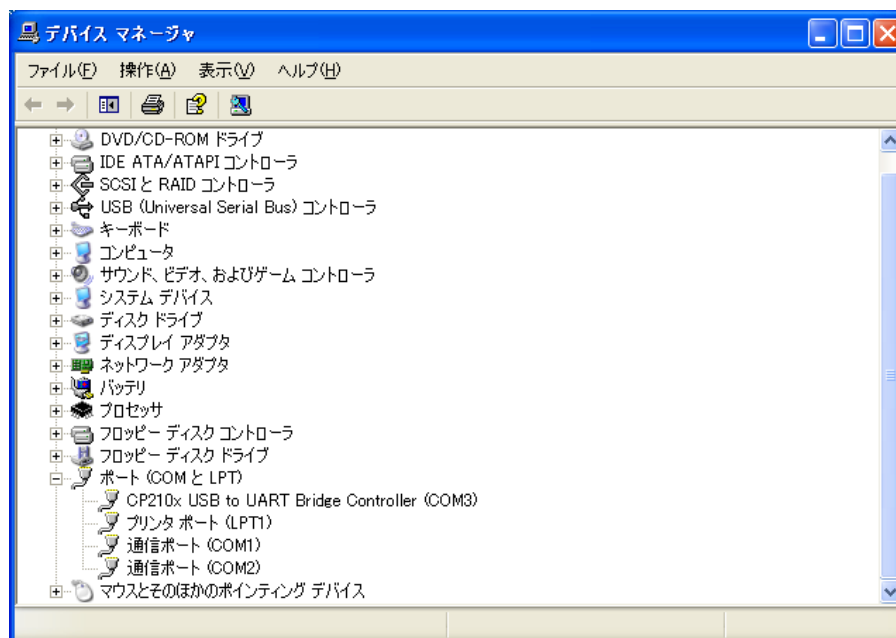
- 1) [スタート]よりメニューを開き[マイコンピュータ]上で右クリック、[プロパティ]をクリックして[システムのプロパティ]を開きます。



- 2) [システムのプロパティ]で[ハードウェア]タブをクリック、[デバイスマネージャ]をクリックします。



- 3) [デバイスマネージャ]が開くので、[ポート(COM と LPT)]を展開し、“CP210x USB to UART Bridge Controller(COM□)”を探し、COM ポート番号を確認します。(□はポート番号を示し、お使いの環境によって異なります)



- 4) デバイスマネージャ他を閉じ、サポートツール設定の[固定]をチェック、コンボボックスより COM ポートを選択して[OK]ボタンをクリックします。(図の例では“COM3”を選択する)

7. 子局割付けとデータ領域

◆子局割付けとデータ格納領域

割付先, 割付サイズによりデータ格納領域がきまります。

ID	シリアルID	機種	割付先	割付サイズ
1	00051106X01	8in8out ▼	RX/RX ▼	8in8out ▼
2	00051106X02	8in8out ▼	RWw/RWw ▼	8in8out ▼
3	00051106X03	8in8out ▼	RX/RX ▼	8in8out ▼
4	00051106X04	16in16out ▼	RX/RX ▼	16in16out ▼
5	00051106X05	16in16out ▼	RWw/RWw ▼	16in16out ▼

上記設定ですとID 1とID 3, ID 4がRX領域, RX領域に割りつき、ID 2とID 5がRWw領域、RWw領域に割りつきます。

データの並び順は一番小さいIDが先頭となり、その後IDの小さい順に詰めて割付けられます。

RXm0 RX(m+1)0	上位 1 バイト(bit15～bit8)	下位 1 バイト(bit7～bit0)
	子局 ID3 入力 7～0	子局 ID1 入力 7～0
	子局 ID4 入力 15～0	

RWwn RWwn+1	上位 1 バイト(bit15～bit8)	下位 1 バイト(bit7～bit0)
	子局 ID 5 入力 7～0	子局 ID 2 入力 7～0
	(未割付)	子局 ID 5 入力 15～8

◆子局エラー情報

子局のエラー情報 (アドレス +0,+1) と生存確認用のハートビートカウンタ (アドレス +2,+3) が下表のように割り付けられます。

アドレス	bF	bE	bD	bC	bB	bA	b9	b8	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0
+0	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
+1	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17
+2	ハートビートカウンタ (bit15～bit0)															
+3	ハートビートカウンタ (bit31～bit16)															

◆システム領域のフラグについて

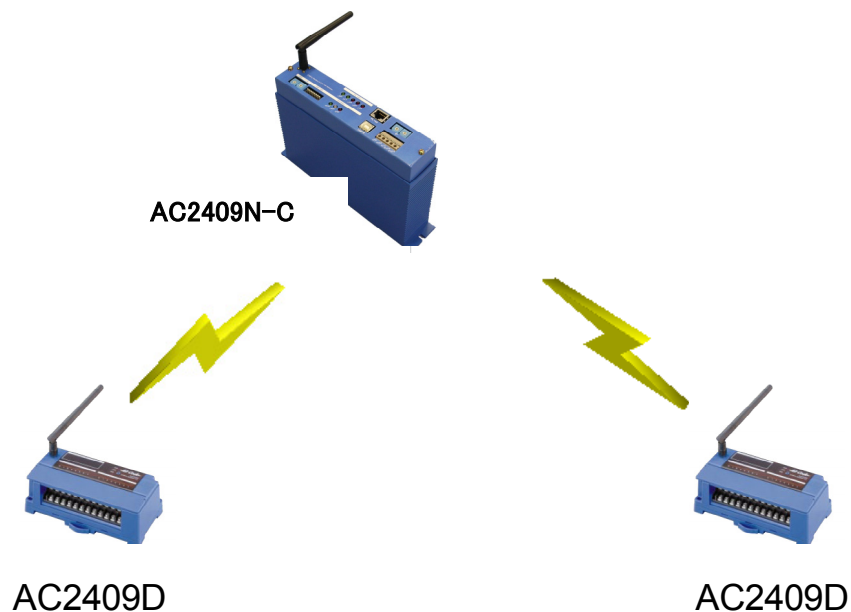
リンク入力	名称	リンク出力	名称
RX(m+n)0	予約	RY(m+n)0	予約
RX(m+n)1		RY(m+n)1	
RX(m+n)2		RY(m+n)2	
RX(m+n)3		RY(m+n)3	
RX(m+n)4		RY(m+n)4	
RX(m+n)5		RY(m+n)5	
RX(m+n)6		RY(m+n)6	
RX(m+n)7		RY(m+n)7	
RX(m+n)8		RY(m+n)8	
RX(m+n)9		RY(m+n)9	
RX(m+n)A		RY(m+n)A	
RX(m+n)B	リモート READY フラグ	RY(m+n)B	
RX(m+n)C	予約	RY(m+n)C	
RX(m+n)D		RY(m+n)D	
RX(m+n)E		RY(m+n)E	
RX(m+n)F		RY(m+n)F	

n は占有局数、拡張サイクリック設定により変わります。対応表を下表に示します

占有局数	拡張サイクリック設定	n	占有局数	拡張サイクリック設定	n
1 局占有	1 倍	1	3 局占有	2 倍	9
1 局占有	2 倍	1	2 局占有	4 倍	B
1 局占有	4 倍	3	4 局占有	2 倍	D
2 局占有	1 倍	3	3 局占有	4 倍	13
2 局占有	2 倍	5	2 局占有	8 倍	17
3 局占有	1 倍	5	4 局占有	4 倍	1B
1 局占有	8 倍	7	3 局占有	8 倍	27
4 局占有	1 倍	7	4 局占有	8 倍	37

◆設定例

下図のような AC2409N-C 1 台、AC2409D 2 台の構成で、実際の設定について説明します。



ここでは、AC2409N-C を 4 局占有、プロトコルバージョン Ver 2. 0、拡張サイクリック 8 倍、HOLD 設定、AC2409D を子局 ID1 として設定し、入出力情報を CC-Link の RX/Ry 領域へ割付、AC2409D を子局 ID2 として設定し、入出力情報を RWr/RWw 領域へ割付、子局エラー情報を RX 領域へ配置する場合の設定を説明します。

7.1 親局のパラメータ設定

CC-LINK の設定を 4 局占有、プロトコルバージョン Ver 2. 0、拡張サイクリック 8 倍、HOLD に設定します。子局エラー情報は RX 領域に設定します。

各値を設定した後、[親局へ登録]をクリックし設定情報を AC2409N-C に書込みます。

ここで、[ファイルへ保存]をクリックすることで、設定した内容を保存(ファイル形式は *.apr)しておくことができます。設定完了後、[OK]をクリックします。保存したファイルは、[ファイルから読み込み]より読み込むことにより、設定を復元することができます。

7.2 子局割付

メイン画面より子局割付設定画面を開き、以下のように設定します。

AirCode 子局割付

ユニット					ユニット				
ID	シリアルID	機種	割付先	割付サイズ	ID	シリアルID	機種	割付先	割付サイズ
1	00051106X03	8in8out	RX/RX	8in8out	17		none	RWt/RWw	8in8out
2		none	RWt/RWw	none	18		none	RWt/RWw	8in8out
3		none	RWt/RWw	none	19		none	RWt/RWw	8in8out
4		none	RWt/RWw	8in8out	20		none	RWt/RWw	8in8out
5		none	RWt/RWw	8in8out	21		none	RWt/RWw	8in8out
6		none	RWt/RWw	8in8out	22		none	RWt/RWw	8in8out
7		none	RWt/RWw	8in8out	23		none	RWt/RWw	8in8out
8		none	RWt/RWw	8in8out	24		none	RWt/RWw	8in8out
9		none	RWt/RWw	8in8out	25		none	RWt/RWw	8in8out
10		none	RWt/RWw	8in8out	26		none	RWt/RWw	8in8out
11		none	RWt/RWw	8in8out	27		none	RWt/RWw	8in8out
12		none	RWt/RWw	8in8out	28		none	RWt/RWw	8in8out
13		none	RWt/RWw	8in8out	29		none	RWt/RWw	8in8out
14		none	RWt/RWw	8in8out	30		none	RWt/RWw	8in8out
15		none	RWt/RWw	8in8out	31		none	RWt/RWw	8in8out
16		none	RWt/RWw	8in8out	32	00831106Z05	8in8out	RWt/RWw	8in8out

”機種”欄は、AC2409D の場合は 8 点入力 8 点出力なので”8in8out”を選択します。

”割付サイズ”は”機種”の設定を行うと自動で選択されますが、手動で割付サイズを選択することで、AC2409D の入力のみを用いた設定等を行うことも可能です。

子局割付設定後、[親局へ登録] をクリックし設定情報を AC2409N-C に書込みます。

ここで、[ファイルへ保存]をクリックすることで、設定した内容を保存(ファイル形式は *.csv)しておくことができます。設定完了後、[OK]をクリックします。

保存したファイルは、[ファイルから読み込み]より読み込むことにより、設定を復元することができます。

また、[アドレスマップ作成]をクリックすることで、親局パラメータ設定、子局割付および CC-Link コモンメモリ領域上での各子局入出力情報が格納されるアドレス等を記述したアドレスマップ(ファイル形式は *.map、テキストファイル)に保存することができます。上位ネットワークでのシステム設計や設定を行う際には、このアドレスマップを利用します。

アドレスマップの例

親局設定

占有局数,4

プロトコルバージョン,Ver2.0

拡張サイクリック設定,8 倍

HOLD/CLR 設定,HOLD

子局エラー情報配置,RX 領域

子局割付

ユニット ID,シリアル ID,機種,割付先,割付サイズ

1,00051106X03,8in8out,RX/RY,8in8out

2,,none,RWr/RWw,none

3,,none,RWr/RWw,none

4,,none,RWr/RWw,none

5,,none,RWr/RWw,none

6,,none,RWr/RWw,none

7,,none,RWr/RWw,none

8,,none,RWr/RWw,none

9,,none,RWr/RWw,none

30,,none,RWr/RWw,none

31,,none,RWr/RWw,none

32,00831106Z05,8in8out,RWr/RWw,8in8out

アドレスマップ

RX 領域,,,RX000~RX047,72 ビット

番地,ユニット ID,シリアル ID,機種,ビット数

RX000~RX007,1,00051106X03,8in8out,8

RX008~RX027,,,子局エラーフラグ,32

RX028~RX047,,,ハートビートカウンタ,32

RY 領域,,,RY000~RY007,8 ビット

番地,ユニット ID,シリアル ID,機種,ビット数

RY000~RY007,1,00051106X03,8in8out,8

RWr 領域,,,RWr00~RWr00,1 ワード

番地,ユニット ID,シリアル ID,機種,バイト数

RWr00~RWr00,32,00831106Z05,8in8out,1

RWw 領域,,,RWw00~RWw00,1 ワード

番地,ユニット ID,シリアル ID,機種,バイト数

RWw00~RWw00,32,00831106Z05,8in8out,1

【参考】子局の入力/出力と CC-Link 上での格納位置

本例で設定した場合、CC-Link の領域でのマッピングは以下のようになります。

CC-Link RX 領域

	上位 1 バイト(bit15～bit8)	下位 1 バイト(bit7～bit0)
RXm0	子局 ID8～1 エラーフラグ	子局 ID1 入力 7～0
RX(m+1)0	子局 ID24～17 エラーフラグ	子局 ID16～9 エラーフラグ
RX(m+2)0	ハートビートカウンタ(bit7～bit0)	子局 ID32～25 エラーフラグ
RX(m+3)0	ハートビートカウンタ (bit23～bit8)	
RX(m+4)0	未使用	ハートビートカウンタ(bit31～bit24)
RX(m+5)0	未使用	
:		

CC-Link RY 領域

	上位 1 バイト(bit15～bit8)	下位 1 バイト(bit7～bit0)
RYm0	未使用	子局 ID1 出力 7～0
RY(m+1)0	未使用	
:	未使用	

CC-Link RWr 領域

	上位 1 バイト(bit15～bit8)	下位 1 バイト(bit7～bit0)
RWrn	未使用	子局 ID1 入力 7～0
RWrn+1	未使用	
:	未使用	

CC-Link RWw 領域

	上位 1 バイト(bit15～bit8)	下位 1 バイト(bit7～bit0)
RWwn	未使用	子局 ID1 出力 7～0
RWwn+1	未使用	
:	未使用	

7.3 子局入出力情報のモニタ

親局パラメータ設定および子局割付設定が完了すると、子局入出力情報をモニタすることができます。子局割付で設定した各子局毎の入力状態および出力状態、無線パケットエラー率が表示され、子局の入出力の確認や無線通信の状態を確認する際に役立ちます。

モニタの表示例(ビット単位、0～31 ビット目の表示)

AirCode サポートツール for CC-Link 親局 ver1.0.0

AirCode CC-Link 親局

シリアルID: 00021208X06
バージョン: 0.1

親局動作設定

CH設定: 9
グループID: 0
無線CH: 2476MHz
エラー時出力: OFF
タイムアウト: 2秒

CC-Link の状態

伝送速度: 10Mbps
局番: 1
ソフトウェア情報: VerA
マスタ状態: 35H
リンク状態: 確立
エラー(SW): 00H
エラー(伝送): 00H
エラー(受信): 00H

AirCode 子局状態

表示形式: ビット 0～31

ユニットID	IN0.....入力ポート.....IN31	OUT0.....出力ポート.....OUT31	エラー率
1	■■■■■■■■	■■■■■■■■	0%
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32	■■■■■■■■	■■■■■■■■	0%

親局パラメータ設定 子局割付 モニタ停止 サポートツール設定

【MEMO】

【MEMO】

第一版

2008 年 3 月 10 日 発行



東朋テクノロジー株式会社

お問い合わせ 0587-24-1214

本 社
稲沢事業所

〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目 10 番 22 号
〒492-8501 愛知県稲沢市下津下町東五丁目 1 番地
TEL (0587) 24-1214